

柏原駅周辺トライアル・サウンディング調査 －実施報告－

令和8年2月

1. トライアル・サウンディング制度概要

トライアル・サウンディングは、市が保有する公共施設等の暫定利用を希望する民間事業者を募集し、一定期間、実際に使用してもらうことで施設の利用可能性を検討する取組である。この調査を行うことで、市は、民間事業者の事業集客力、信用、施設との相性などを確認することができ、民間事業者は、立地、使い勝手、採算性などを確認することができる。

公共施設等の持つポテンシャル、魅力を最大限に引き出すため、民間事業者の皆様と公共施設の持つ可能性について調査することが目的である。



2. 実施の背景

柏原市では、地域の方々や民間事業者、行政などが「まちの将来像」を共有し、協働でまちづくりを推進する指針として『柏原駅東地区まちづくり基本構想』を策定している。この基本構想の実現化に向けて、柏原市まちづくり基本条例に則り、協働による公共空間の整備方針並びに地域活性化に関する施策を併せて検討するため、一定期間トライアル・サウンディングを実施した。

3. 期待される効果

本事業により、次のような効果が期待できると考えている。

(1) 提案事業者が得られる効果

- ① 公共施設等における事業アイデアが地域特性やコンセプトにマッチしているかの確認
- ② 事業アイデアに対する収益性など、市場ニーズの確認
- ③ 事業実施における立地、使い勝手、必要な設備、投資額の感触をつかむ
- ④ 本格運営ではなく、短期間での実施により、リスク負担を抑えてチャレンジできる

(2) 柏原市が得られる効果

- ① 公共施設等の市場性や市民・事業者の利用ニーズを早い段階の確認
- ② 公共施設等の活用や魅力・アピール力の向上につながる
- ③ 今後の公共施設等の整備や使い方に向けた課題や方針を検証
- ④ 短期間で季節感のあるイベントを誘発し、周辺エリアの価値向上

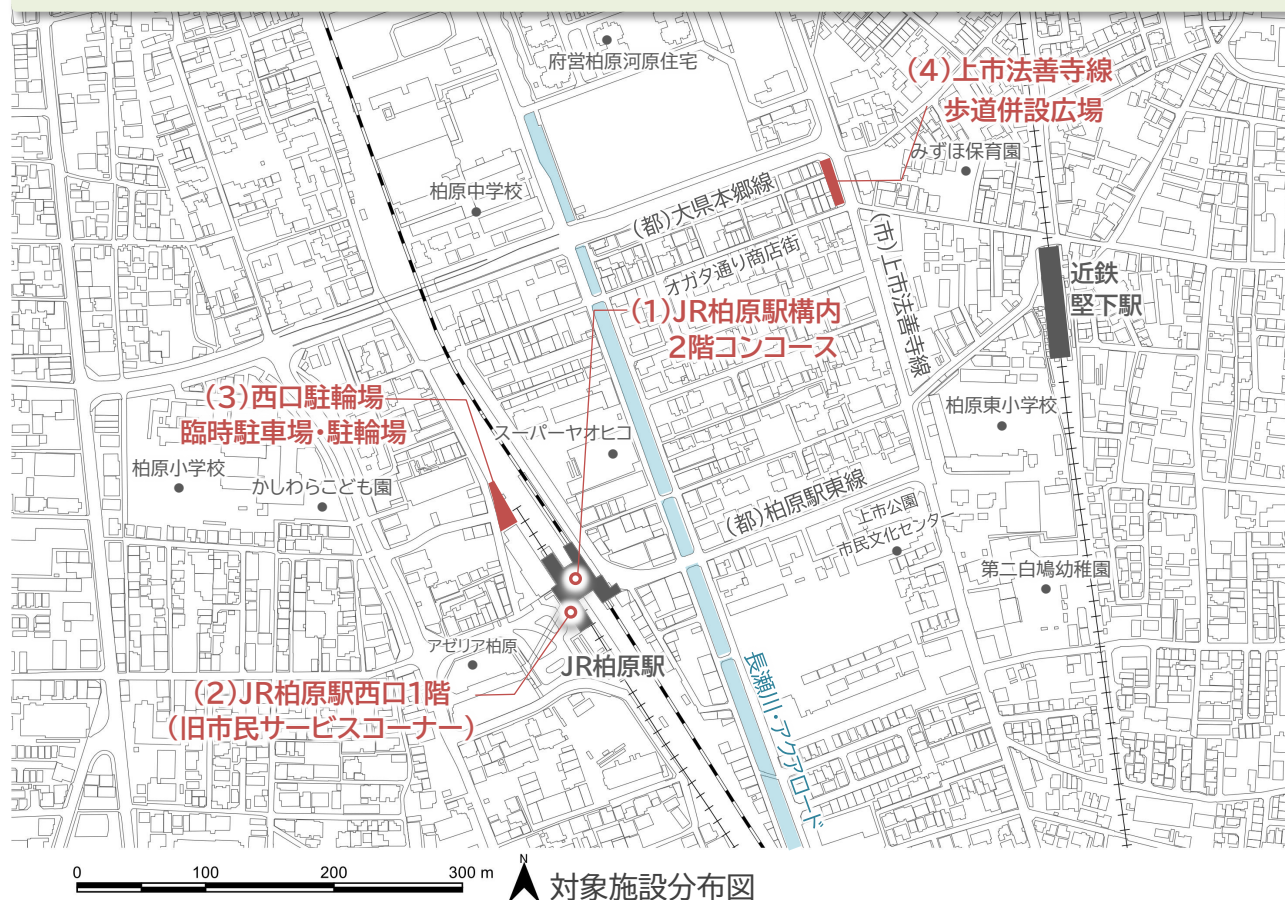
4. 全体スケジュール

日 程	内 容
令和 7 年 10月14日	実施要項の策定・公表
令和 7 年 10月14日～ 12月12日 ※事前相談の受付は、12月1日までとします。	トライアル・サウンディングの参加者募集
令和 7 年 11月 4日～ 12月25日	トライアル・サウンディングの実施 公共施設等の試験利用

5. 対象施設及び活用可能なスペース

トライアル・サウンディングの対象施設は下記の図の通りである。

- (1) JR柏原駅構内2階コンコース (2) JR柏原駅西口1階(旧市民サービスコーナー)
- (3) 西口駐輪場臨時駐車場・駐輪場 (4) 上市法善寺線歩道併設広場



6. 活用事業者

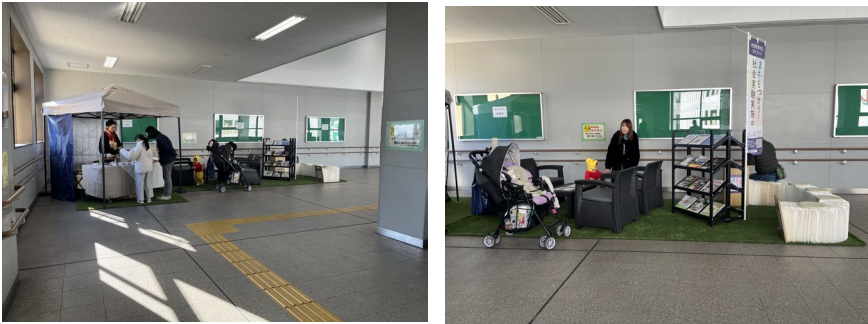
本事業により、以下の事業者が出店した。

団体名	利用内容	試験利用する対象施設
かしわら芸術祭実行委員会	芸術作品の展示	市民サービスコーナー
(株)林部旅行プランニングサービス	観光案内所及び 地場物産品の代理販売	市民サービスコーナー
自然工房米粉の家	キッチンカーの出店	・上市法善寺線 歩道併設広場
屋台村実行委員会	キッチンカーの出店	・柏原駅西口臨時駐輪場・駐車場 ・上市法善寺線 歩道併設広場
humming bird	米粉の焼菓子販売	・柏原駅構内2階コンコース
ATELIER HURUKI	フィナンシェの包装販売	柏原駅構内2階コンコース
とんちゃん	お弁当の販売	柏原駅構内2階コンコース
非公開(個人)	アロマオイルを使ったハンドマッサー ージWS & 野菜の販売	柏原駅構内2階コンコース
+ONECOFFEE	コーヒー、スコーン、グラノーラ販 売	・柏原駅構内2階コンコース ・市民サービスコーナー
CrossBee	①観光案内所、かしわらものの販 売等&コラボ出店 ②レトロ雑貨の販売&コラボ出店 ③オープンスペース化、お弁当販 売案内、プレイパーク ④キッチンカーの出店、ベンチ等 のしつらえ	・市民サービスコーナー ・柏原駅構内2階コンコース ・柏原駅西口臨時駐輪場・駐車場 ・上市法善寺線 歩道併設広場

7. 活用結果

本事業により、事業者の活用状況のヒアリングを数日間実施した。以下に、写真やヒアリング内容を記す。

■JR柏原駅構内2階コンコース

項目	詳細
団体名	humming bird
利用内容	米粉の焼菓子販売
活用期間	令和7年11月29日(土)～12月2日(火)、12月22日(月)
調査日	令和7年11月30日(日)13時～13時15分
当日写真	
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・人通りが多く、人の目に留まりやすい。 ・椅子を利用している方を見かける。 ②事業者の利用/市場性 (売れているか、場所として魅力的か、どんな店舗や使い方がよいか、設備や環境の要望) ・貸し出しの備品が充実しており、販売環境も想像以上に良いと感じた。 ・お菓子の販売には机や椅子など飲食スペースは不要であるが、コーヒーなどの販売には現状のような机や椅子があったほうがよいのではないかと。 ・かなり市場性がある場所であり、販売がしやすい。

項目	詳細
団体名	+ONECOFFEE
利用内容	コーヒー、スコーン、グラノーラの販売
活用期間	令和7年11月26日(水) 12月 5日(金)、10日(水)、17日(水)、20日(土)、24日(水)
調査日	令和7年12月 5日(金)14時30分～15時
当日写真	
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・出店による通行の支障は特にみられなかった。 ・電車が15分間隔で運行しており、15分ごとに人通りが多くなる傾向がみられた。 ・短時間で購入し、滞留せずに立ち去る利用者が多かった。 ・「いつまで出店しているのか」という問いかけが多かったため、継続的な実施への関心があるのではないかと感じた。 ・通行者の目に留まりやすく、認知されやすい場所であった。 ・椅子やテーブルの利用者は1時間に5～6名程度であった。 ②事業者の利用/市場性 (売れているか、場所として魅力的か、どんな店舗や使い方がよいか、設備や環境の要望) ・購入者が多く、初日は14時台に商品が完売するなど、良好な販売実績であった。 ・天候に左右されずに出店でき、平日でも売上が良いこと、またキッチンカーではなくテント販売が可能な場所が柏原駅周辺にないことから、継続的に出店できる仕組みを望む。 ・知名度向上のため、JR柏原駅構内2階コンコースの掲示板へのチラシ掲出を希望する。 ・社会実験の本棚により店舗が視認されにくいいため、出店位置を改札寄りに変更してほしい。 ・複数店舗の出店も可能だが、1店舗で出店した方が売上は高い。 ・電源設備があれば、温かいコーヒー等の提供が可能となる。今回はJR柏原駅西口1階(旧市民サービスコーナー)で調理を行ったが、2階コンコースのみでは温かい飲料の提供が難しい。 ・過去に大正通り商店街でテント販売を実施したが、人通りが少なく、販売につながりにくい状況であった。

項目	詳細
団体名	Cross bee
利用内容	リユースショップ、コーヒー、米粉の焼菓子等の販売(コラボ出店)
活用期間	令和7年12月15(月)～12月25日(木)
調査日	令和7年12月21日(日)12時～12時30分
当日写真	
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・人の目に留まりやすい場所である。通行者の支障になるようなことはない。 ・昔の駅伝言標を今風に変化させて駅の伝言板を設置した。誰かが書いたコメントに誰かが反応しており、1日でホワイトボードが埋まるほどの利用率があり、内容を楽しみにしてくださる方もいる。 ・継続して出店してほしいという声をよくいただく。 ②事業者の利用/市場性 (売れているか、場所として魅力的か、どんな店舗や使い方がよいか、設備や環境の要望) ・商品が完売するほどの場所の魅力がある。 ・お手洗い、光源がほしい。 ・出店エリアとしては、お店・椅子テーブル・お店と並べたほうがよい。1店舗よりも、複数店舗の方が賑わっている雰囲気が強くなる。

■JR柏原駅西口1階(旧市民サービスコーナー)

項目	詳細
団体名	(株)林部旅行プランニングサービス
利用内容	観光案内所及び地場物産品の代理販売
活用期間	令和7年11月17日(月)～21日(金)、11月25日(火)～30日(日)
調査日	令和7年11月30日(日)12時30分～13時
当日写真	
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・基本的に人通りが少なかったため、立ち寄る利用者は少なかった。 ・歩行者は遊歩道を利用する特性があり、バスやタクシー利用者のみが当該空間の前を通過しているような傾向がみられた。 ・無料の駐車場や駐輪場がないことから、自転車や自動車による来訪は少ない。 ・屋外に設置したチラシ類は大幅に減少しており、持ち帰る方が多い。 ・何が実施されているのか興味を持ち、屋内まで入ってくる利用者が多くみられた。 ・電車利用のため駅へ向かう利用者の来訪が多く、時間に余裕がないことから滞在時間は短かった。 ・場所の活用について肯定的な意見が多く、「より長い期間実施してほしい」という意見もいただいた。 ②事業者の利用/市場性 (売上状況、場所としての魅力、適した店舗や活用方法、設備・環境面の要望) ・基本的に人通りが少ない場所であることや、駅という立ち寄りやすい場所であるという特性上、銀行や観光業のように目的をもって立ち寄っていただけるような活用が良いと考える。 ・立ち寄る方の時間が限られていることや、近隣に無料の駐輪場・駐車場がないことから、カフェ等の利用は難しいのではないかと考える。 ・観光業は柏原市内の方だけではなく、柏原市に訪れた方に対しても需要があるため、継続的に実施した方がよい。

項目	詳細
団体名	+ONECOFFEE
利用内容	コーヒー、スコーン、グラノーラの販売
活用期間	令和7年11月26日(水) 12月 5日(金)、10日(水)、17日(水)、20日(土)、24日(水)
調査日	令和7年12月 5日(金)14時30分～15時
当日写真	 
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・人通りが少なく、バス待ちで目の前のベンチに座っている方からも、目に留まっていない。 ・90代女性、70代女性の2名に約30分間利用していただけた。 ②事業者の利用/市場性 (売上状況、場所としての魅力、適した店舗や活用方法、設備・環境面の要望) ・掃除機やモップ等の清掃用具、音響設備、白熱灯やスポットライトなどのおしゃれな照明設備が整備されると良いと考えられる。 ・駅に近接していることから、スターバックスコーヒー等の知名度が高いカフェが出店すれば利用者は多いと考えられる。エレベーターのすぐ横という立地条件からも、利用者の増加が期待できる。 ・ロータリーのゼブラ部分に路上駐車する車両が多くみられ、テイクアウト可能なコーヒー等の販売には市場性があると考えられる。

項目	詳細
団体名	CrossBee
利用内容	観光案内所&POPUPSHOP、コーヒー及びお菓子の販売(コラボ出店)
活用期間	令和7年12月15日～12月25日(木)
調査日	令和7年12月 5日(金)14時30分～15時
当日写真	
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・バスや電車を待っている方が目の前のベンチで座っていることが多く、そのままお店まで立ち寄ってくださる。また、犬の散歩で通る方が多い。 ・夜20時まで営業してみたが、19時まではある程度の客入りがあった。 ・路駐等による問題はない。 ②事業者の利用/市場性 (売上状況、場所としての魅力、適した店舗や活用方法、設備・環境面の要望) ・ドアの入り口に暖簾が掛けられるようにしてほしい。また、おしゃれな照明、お手洗い、無料wifi、音楽が流せるようにしていただきたい。壁紙も綺麗になるとよい。 ・実店舗があるため、知名度があり、かなり固定客がきてくださる。 ・自動ドアを開放することによってふらっと入りやすいような状況にして、寄ってくださる方を獲得している。 ・1日20人以上の利用者が要る状況で、土曜日は西口駐輪場臨時駐車場・駐輪場でイベントを実施していたこともあり、40名程度の利用者がいた。 ・よく道を聞かれることが多く、柏原市へ来たばかりの方などが立ち寄ってくださる。

■ 上市法善寺線歩道併設広場

項目	詳細
団体名	屋台村実行委員会
利用内容	キッチンカーの出店(たこ焼き、サンドイッチ、おにぎり、焼き芋等のスイーツ)
活用期間	令和7年11月26日(水)、28日(金)、29日(土) 12月 1日(月)、 5日(金)
調査日	令和7年12月 5日(金)13時～13時30分
当日写真	
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・上市法善寺線および大県本郷線に接しており、車通り・人通りが多いことから、人の目に留まりやすい好立地である。 ・平日は小学生や高齢者の利用が多く、地域の方から声をかけられる機会が多い。地域住民とのコミュニケーションが自然に生まれている。 ・会場で飲食をする利用者は少なく、テーブルや椅子を利用する滞留よりも、購入後に持ち帰る利用が中心となっている。 ②事業者の利用状況・市場性 (売上状況、場所としての魅力、適した店舗や活用方法、設備・環境面の要望) ・利用者の快適性向上のため、トイレの設置や、寒い時期でも利用できるビニールテントの整備を望む。 ・現在設置されている木製テーブル・椅子は、軽くて動かしやすく、デザイン性が高いことから利用者が多い。ステージ部分は購入待ちの利用者の腰掛けとして活用されていた。 ・夜間営業については需要が想定されるが、近隣住民との調整が必要になる。 ・キッチンカーは最大4台の出店が可能な広さである。平日営業日には4台で計57食の販売が可能であったため、一定の需要がある。 ・土日イベントで余った食材の販売機会として、平日営業ができる場所は貴重であり、継続的に出店可能な制度化を望む。 ・キッチンカー同士で商品が重複する課題があるため、出店管理や清掃等の業務を民間団体に委託し、運営管理を担う仕組みを望む。 ・平日の営業は、高齢者が外出するきっかけづくりとなるほか、商店街入口としての立

	地を活かし商店街と連携できる可能性がある。 ・出店募集期間が短く、事業者が対応できなかったとの声が多く、少なくとも2ヶ月前の募集が必要との意見があった。特に土日は1年先まで予定が埋まることが多い。 ●その他(出店場所に関する意見) 【12月1日(月)西口駐輪場臨時駐車場・駐輪場での出店時】 ・当日は人通りがほとんどなく、購入者がほぼいない状況であったため、上市法善寺線歩道併設広場へ出店場所を変更した。
--	---

項目	詳細
団体名	自然工房米粉の家
利用内容	キッチンカーの出店(米粉のパン・お菓子の販売)
活用期間	令和7年12月5日(金)
調査日	令和7年12月 5日(金)13時30分～14時30分
当日写真	
ヒアリング内容	①利用者の滞留状況 (通行や滞留の支障、滞留時の行動、通行者の空間への興味、目に留まっているか) ・上市法善寺線および大県本郷線に接しており、車通り・人通りが多く、人の目に留まりやすい立地である。 ・寒い季節であることも影響し、13時から14時の時間帯は購入者がいなかった。 ②事業者の利用/市場性 (売上状況、場所としての魅力、適した店舗や活用方法、設備・環境面の要望) ・設備・環境に関して、トイレや暖房器具の設置を望む。 ・安価な商品から売れていく傾向がある。柏原市役所での出店時は400円のメロンパンを購入する利用者が多いが、上市法善寺線歩道併設広場では、250円の米粉蒸しパン(6個)およびプチパン(8個)が11時頃に完売した。 ・地域住民との会話において「少し高い」との声があり、軽食として購入しやすい商品が求められている可能性がある。 ・香芝市役所に出店する際には、キッチンカー同士の商品重複がある場合、事前に市役所から連絡を受ける仕組みがある。 ・柏原市役所に出店する際には、市民が優先して出店予約できる仕組みが整っており、出店がしやすい環境である。

8. 実績報告書のまとめ

本事業により、事業者から提出された実績報告書の結果を以下に記す。

(1) JR柏原駅構内2階コンコース

項目	内容	
主な利用者層	概要	JR柏原駅の通勤・通学利用者(特に平日)・近隣住民のお買い物主婦層の利用客(特に休日)・事業者の固定客
	性別	女性が多い(菓子やWS等の女性客をターゲットとしたお店が多かった)
	年齢層	30代～50代
	時間帯	全時間帯利用があるが、特に昼前後および夕方に集中する
利用内容	フィナンシェの販売、お弁当の販売、珈琲及びお菓子の販売、アロマWS、米粉菓子販売、レトロ雑貨の販売	
利用者・周囲の反応	利用者からは、「駅構内で気軽に立ち寄れる」「普段店舗に入りにくい人でも購入しやすい」といった声が多く聞かれた。また、継続実施を望む意見も複数寄せられ、駅空間を活用した取組に対する肯定的な反応が確認された。	
事業ニーズ・採算性の感触	収支については、黒字または収支均衡とする事業者が多く、駅構内という立地特性から一定の事業ニーズがあることが確認された。特に短時間での購買が見込める食品販売や軽飲食との相性が良い傾向が見られた。	
空間・設備面の評価	○天候の影響を受けにくく、人通りが多い ×電源、トイレ、照明、Wi-Fi等の設備面については改善を求める意見が多い	
望ましい事業方式・運営形態	1日～数週間程度の短期・柔軟な貸付 複数事業者が入れ替わりで利用できる仕組みが望ましい	
行政支援に対する主な要望	低額な使用料の設定、什器の貸出、広報・PR支援、使用・占用手続きの簡素化を求める意見が多く寄せられた。初期負担を抑えた環境整備が、参加促進につながると考えられる。	
総合評価・今後の示唆	JR柏原駅構内の公共空間は、民間事業者による短期的・柔軟な利活用との親和性が高いことが確認された。今後は、設備面の改善や運営ルールの整理を行いながら、段階的な利活用の継続と制度化に向けた検討が必要。	

(2)JR柏原駅西口1階(旧市民サービスコーナー)

項目	内容	
主な利用者層	概要	高齢者や行政バス利用者を中心とした利用が見られ、待ち時間を過ごす場として立ち寄る利用者が多かった。
	性別	男女ともに利用
	年齢層	高齢者を中心として幅広い年代
	時間帯	全時間帯利用一定数の利用
利用内容	芸術作品の展示、観光案内所及び地場物産品の代理販売、珈琲及びお菓子の販売 かしわらものの販売等	
利用者・周囲の 反応	利用者からは、「座れる場所があるのは助かる」「これまで使われていなかった場所が開いているのは良い」といった肯定的な意見が多く寄せられた。また、「何をしている場所なのか気になる」「今後どう使われるのか期待したい」といった当該空間が開放されること自体に一定の関心が寄せられていることが分かった。	
事業ニーズ・採算 性の感触	通行量が限られていることから、物販や飲食を中心とした民間事業者の単独運営では、安定的な収益確保が難しいとの意見が多く見られたが、観光案内、交通案内、待合機能等の公共的機能と組み合わせることで、利用価値が高まり、一定のニーズが見込まれるとの評価が得られた。	
空間・設備面の 評価	○駅に近接し利便性が高い ×バックヤードや倉庫スペースの不足、水回りやトイレがないこと、Wi-Fi等が未整備であること、自動扉による心理的な入りにくさ、施錠の必要性による営業時間の制約、元行政施設であることによる内装の簡素さ	
望ましい事業方 式・運営形態	行政が関与しながら複数主体が関われる柔軟な運営形態で、短期間の利用やイベント的な活用、入替制・期間限定利用など、試行的に使いながら検証できる仕組みが望ましい	
行政支援に対す る主な要望	初期費用や設備整備に対する支援、利用ルールや申請手続きの明確化、広報面での協力などが挙げられた。採算性が低い公共的機能を担う場合には、一定の運営支援や位置付けの明確化が必要である。	
総合評価・今後 の示唆	JR柏原駅西口の「空いていること」や「開かれていること」自体が駅前空間としての価値向上につながる一方で、現状の空間仕様および運営条件のままでは、活用の幅が限定されることが明らかとなった。そのため、民間事業者の単独採算を前提とするのではなく、公共性を重視した暫定的な利活用として位置付けることが重要である。	

(3)西口駐輪場臨時駐車場・駐輪場

項目	内容	
主な利用者層	概要	JR柏原駅の通勤・通学利用者、周辺住民、犬の散歩中の方、事業者の固定客
	性別	男女ともに利用
	年齢層	親子連れや中学生を含めた幅広い年代
	時間帯	正午前後、夕方、夜間
利用内容	平日：オープンスペース化(くつろぎ空間)、休日：露店・プレイパーク	
利用者・周囲の反応	告知方法やイベントの組み立て次第では来場者増が見込める。周辺の民家や商店へ挨拶を行ったところ、「使われていて嬉しい」「もったいない場所なので今後も活用してほしい」との前向きな意見が寄せられ、周辺からの理解は良好であった。	
事業ニーズ・採算性の感触	単発的な出店形式では十分な採算性は得られない。短期的かつ定期的なイベントにて十分な告知を行わなければ来場者の確保は難しい。通勤・通学時間帯には一定の安定した人流が確認されており、当該時間帯にテイクアウトを前提とした軽飲食業については成立の可能性があるが、通勤通学時間帯を活用できない場合には、採算確保は困難である。 空間の設えにより、日中には犬の散歩利用や中学生のたまり場など、公園に準じた利用が見られ、くつろぎの場としての機能が確認された。犬と一緒に入れることや、自転車に乗ったまま立ち寄れる点は、当該空間の特性として事業上の利点になり得る。日中に限らず、夕方～夜早めの時間帯まで利用可能となれば、プログラムの幅が広がるとともに、同一空間内、または近接地に軽飲食機能があれば、相乗効果が期待できる。	
空間・設備面の評価	○立地条件は良好、滞在・交流の場として一定のポテンシャルがある。 ×普段は閉鎖されており場所の存在自体が十分に認知されていない。トイレが未整備。	
望ましい事業方式・運営形態	行政が関与しながら複数主体が関われる柔軟な運営形態で、短期間の利用やイベント的な活用、入替制・期間限定利用など、試行的に使いながら検証できる仕組みが望ましい	
行政支援に対する主な要望	・電源・給排水・トイレ等のインフラ整備 ・無舗装部分道路側のフェンス撤去・舗装部分道路側フェンスの横断幕撤去により視認性をあげたい。利用ルールや申請手続きの明確化、広報面での協力などが挙げられた。採算性が低い公共的機能を担う場合には、一定の運営支援や位置付けの明確化が必要である。	
総合評価・今後の示唆	日常的な軽飲食の場としては採算確保が難しい一方、時間帯・用途・プログラムを限定することで成立可能性が高まる空間であることが明らかとなった。今後は、本事業を継続することにより、時間帯別・用途別の使い分けによる活用検討へ段階的につなげていくことが求められる。	

(4) 上市法善寺線歩道併設広場

項目	内容	
主な利用者層	概要	道路の通行人、近隣で仕事をしている従業員、散歩中の高齢者、平日16時以降は小学生や中学生
	性別	男女ともに利用
	年齢層	40代以上を中心とした幅広い年代
	時間帯	昼(11時台～12時台)および夕方から夜(16時台～20時台)に集中
利用内容	キッチンカーによる菓子・軽飲食等の販売、ベンチ・テーブル等の施設の設置	
利用者・周囲の反応	道路沿いという立地特性から、通行人が足を止めて様子をうかがう姿が多く見られ、「次はいつ出店するのか」「続けてほしい」といった声が複数寄せられた。パレット下部に照明を仕込んだ演出については、「映える」「雰囲気が良い」との評価が高かった。持ち帰りで購入される方が多かった。	
事業ニーズ・採算性の感触	概ね黒字または採算性が見込めるとの回答が多く、特に軽食・テイクアウト型の商品は購入されやすく、低価格の商品から早く売れていった。道路沿いで日常的な人流があることから、軽飲食を中心とした事業ニーズは一定程度存在すると評価できる。	
空間・設備面の評価	○空間の広さ・人通りかつ車通りの多さ・歩道と広場の境界が明確かつ車道側に柵が設置されており、安全・快適に利用可能である。 ×トイレ・電源・給排水設備の不足、寒さや雨をしのぐ場所がない	
望ましい事業方式・運営形態	一定期間を設定したうえでの利活用制度の継続実施(現行のまま)、もしくは恒久的な貸付事業の実施、他事業者や地域団体等と連携する利活用を前提とした実施等が挙げられる。利用料の高騰の懸念と、キッチンカーの出店においてはメニュー調整等も含めて出店者側に一定の裁量をゆだねる運営形態が望ましいとの意見が出た。	
行政支援に対する主な要望	・電源・給排水・トイレ等のインフラ整備 ・出店情報や取組内容に関する広報・PR支援 ・使用・占用手続きの簡素化 ・周辺住民・関係者との調整支援	
総合評価・今後の示唆	交通量の多い道路に面している立地特性を生かし、軽飲食や小規模な滞在に適した空間である。設えによって空間の滞在快適性も向上するため、日常的・継続的な利活用の仕組みづくりを行うとともにオガタ通り商店街と連携した活気創出につなげていくことが求められる。	